



西林寺境内 満開の桜



# 西林寺だより

発行元  
西林寺門徒総代会  
広島県安芸郡坂町  
坂東3-14-17  
(082)885-0018  
iタウンページ  
西林寺

杖のことば  
煩惱にまなこ  
さへられて  
摂取の光明  
みざれども  
大悲ものうき  
ことなくて  
つねにわが身を  
てらすなり

- 初代 存立
- 2代 惠教
- 3代 惠空
- 4代 惠讚
- 5代 惠満
- 6代 惠陳
- 7代 惠見
- 8代 普巖
- 9代 僧肇
- 10代 道宣
- 11代 惠照
- 12代 普行
- 13代 普現
- 14代 行道
- 15代 庫藏
- 16代 行昭



西林寺の開基は文禄4(1595)年、浄土真宗改宗時点の道羽です。しかし、道羽が僧侶だったのか、村内のお寄り講の代表だったのかも定かではありません。庄屋孫助と同一人物ではないかという説もあります。記録に名前の残る道明・存立との続柄も、その間に他の住職が存在したかどうか不明です。そこで文化10(1813)年に、普巖によって記録された寺内過去帳によって、相承が明らかかな「存立」を初代住職として歴代の系譜を綴ります。

## 西林寺の沿革(その5)

## 西林寺記念事業進捗状況

本堂庇防水改修工事(株)ブリックと契約し、昨年8月に完成。

西林寺客殿改修工事(株)岡寄社工務店と契約。現在は大屋根葺き替えの準備として、老朽化した柱や樫、屋根下地及び建具等の取り換え工事中で、瓦の搬入も概ね終え、一部屋根瓦の葺き替え工事に着手。



軒下 本堂火災時の延焼部分

野タルキ腐食状態  
昭和30年本堂火災の延焼した跡が、今でも屋根裏に残っています。  
工期は8月末日の予定。



かまちが白蟻で腐食状態

境内樹木伐採  
仏教壮年会のご協力をいただき、広島県森林組合連合会により3月に完了。  
工事中は皆さまにご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いたします。

## お念珠手作り講習会

2月26日(月)門信徒会館にて、幸野輝彦さんと榎尾民子さんの指導のもと、講習を行いました。参加者は11名でした。数珠玉の穴に糸を通すのが難しい箇所があり、苦労されて



パネルで説明



慣れない手つきでご苦労さま

おりましたが、完成した念珠に手を通して、合掌しお念仏もうさせていただくこと苦勞した分感慨深く、皆さま大切にしたいとおっしゃっておられました。

## 法座案内

春季永代経法座

四月二十日(金)昼席・夜席

二十一日(土)昼席

講師 元鎮西高校々長 香川孝志 師

宗祖降誕会

五月十八日(金)昼席・夜席

十九日(土)朝席・昼席

講師 安佐北区白木町 順覚寺 榑崎一大 師

花まつりのご案内

4月5日(木)14時から西林寺本堂にて、今年もお釈迦さまの誕生日をお祝いする「花まつり」を行います。楽しいお話しとジュースやお菓子も用意しております。皆さまお誘い合わせてご参加ください。

## 編集後記

満開の桜を愛でながら、新年とは違った新鮮さを感じます。それは歓送迎会が行われるように、出会いと別れの季節でもあるからでしょう。立ち止まってものを考える時間を大切にしたいものです。

『西林寺だより』も早や創刊2年です。これからご愛読よろしくお願いたします。



第21回 西林寺念仏奉仕団 平成30年3月1日

3月1日(木)から1泊2日で、25名参加しました。念仏奉仕団は、昭和23年に蓮如上人450回遠忌法要に上山された篤信のご門徒の皆さまが、戦後の荒廃した境内地を見て、心を痛め、愛山護法の思いから自主的に奉仕活動を始めたのが最初です。

### 本山念仏奉仕団報告



1月13日(土) 朝席の後、仏教壮年会と一緒に、法務員のご指導のもと、本堂周りのお掃除と内陣仏具のおみがきをさせていただきました。

### 御正忌前のおみぎ

## 仏教婦人会 あれこれ

西林寺では今回が21回目です。前夜からの暴風雨も弱まり、みんな感謝しながら出発しました。最初に大谷本廟に参拝し、続いて本願寺に向かい、遠近各地か

### 仏教婦人会行事案内

- 一 総会・追弔法要(西林寺本堂) 四月十九日(木) 13時から
- 二 降誕会祝賀アトラクション 五月十九日(土) 昼席の後
- 三 西林寺一日研修(四国方面) 六月十八日(月)



西林寺のご本尊にお供えした灯明の残口ウドルを利用して、キャンドルを製作しました。4月の総会の時、お渡しします。停電時に役立ててください。

### 大型キャンドルプレゼント



このご縁に感謝の2日間でした。参加10回目の岡野隆子さんが表彰されました。行事終了後、「なんばグランド花月」で「吉本新喜劇」を観劇し、笑いの渦の中、楽しいひとときを過ごしました。

### 新年互礼会

## 仏教壮年会 あれこれ



1月8日(月) 門信徒会館にて新年互礼会を開催しました。今年一年、仏教壮年会の活動を協力し合って、盛りたてていくことを確認しました。

### 安芸北組 研修会



2月18日(日) 海田町長谷寺にて研修会が行われ、8名が参加しました。ご講師は岡山県浄福寺副住職 山下瑞円師で「仏縁に遇う」の講題でご法話をいただきました。

### 仏教壮年会行事案内

- 一 総会・懇親会 四月七日(土) 15時から 西林寺門信徒会館・境内
- 二 松の木 剪定 六月(未定)

## 聞思録(もんしるく)

今年、父の33回忌を迎えます。35年前、長姉の結婚披露宴の寄せ書きに、「大悲無倦常照我の語をよくよく味わうように」と、「父」と記していたのを憶えています。これは、「我亦在彼撰取中 煩惱障眼雖不見 大悲無倦常照我(我また、かの撰取の中にあれども、煩惱、眼を障えて見たてまつらずといえども、大悲ものうきことなくて、常に我をてらしたもう)」という親鸞聖人の『正信偈』のご文です。「杖のことば」は、これを『和讃』に表したものです。

父はこのご文をよく語っていたそうです。父の葬儀を修行するまでに、ご門徒の葬儀に出向く縁がありました。『正信偈』のお勤めしながら、ふと感じたことがあります。「仏さま(大悲)はいつも私を照らし続けているとおっしゃる。なのにどうしてこんなにも大きな悲しみを受けるのだろう」と。その時に、仏さまが私を照らし護ってくださいということとは、私が悲しみや苦しみを受けることがなくなるということではないと漠然と知らされました。

では、大悲に照らされる人生とは、一体どういう意味をもつものなのでしょうか。大悲とは苦悩の中に沈む我が身を、苦悩を超えて本当の幸せに満足する人生に育てようという、

仏さまの願いです。しかし、その大悲に照らされてあることの自覚は、「光の照らすところに影が出来る」ように、直接に大悲に照らされてあることが自覚されるわけではなく、仏さまに背を向けて生きているお粗末な我が身との邂逅に他なりません。あるご婦人は、「大悲は仏さまのお叱りのことばです」と受け止められました。大悲が常に我が身を照らしてくださるということは、日々我が身が問われ、お粗末な我が身との出遇いを持ち続けることです。

仏さまの教えは「生死の一大事(本当の苦惱)」の解決にあります。家内安全も立身出世も延命息災も、私たちの切なる願いです。思い通りにならない人生において、悲しみや苦しみの中で、時にはその場限りの慰めや励ましも大切でしょう。しかし、そこには本当の幸せはありません。仏法の目的はそこにはないのです。

大悲に照らされるといふことは、大悲に育てられるということです。そこに思い通りにならない人生の原因は自己の内側にあることに気付かされ、思い通りにならなくても人生には深い意味があることに目覚めてゆく歩みが開かれてくるのです。どんな人生であつても、大悲に照らされた歩みの中に本当の命の意味に目覚める人生であつてほしいという父の願いを、改めて噛みしめたいものです。

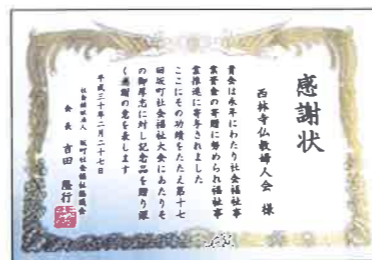
## プルトップで車いす寄贈



西林寺では「み仏にお育ていただいた喜びをもって、地域社会に目を向け、出来ることから思いやりの心を伝えよう」という趣旨で、仏教婦人会の「ダーナ」募金とは別に、アルミ缶のプルトップを集めて「介護用車いす」を寄贈する取り組みを皆さまに呼びかけました。本堂内に設置したドラム缶には10杯にも及ぶプルトップが集められ、それらを換金して、坂町社会福祉協議会に5脚の「介護用車いす」を寄贈することが出来ました。

### ダーナ募金報告

1月に募金活動したダーナ募金を、安芸北組仏教婦人会連盟と坂町社会福祉協議会及びワイワイハウスに寄付させていただきました。



感謝状